

資料 4

平成 26～令和 2 年度岡山県計画（医療分） の事後評価について

1

○令和 2 年度実施事業費について

平成 26・27・30 年度計画及び、令和 2 年度計画に基づく事業を実施。

区分 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設
又は設備の整備に関する事業

(9事業 488,561千円)

区分 2 居宅等における医療の提供に関する事業

(17事業 51,959千円)

区分 4 医療従事者の確保に関する事業

(29事業 608,405千円)

計 1,148,925千円 (55事業)

2

○区分1に関する事業

<平成26年度計画>

- ・ 地域医療ネットワーク基盤整備事業 (1事業 7,647千円)

<平成27年度>

- ・ 病床機能分化・連携促進のための基盤整備事業 (1事業 354,079千円)

<平成30年度計画>

- ・ 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業
- ・ 周術期緊急搬送補助システム“iPicss”を用いた周産期搬送連携体制の構築
- ・ 晴れやかネット拡張機能（ケアキャビネット）整備拡充事業 (3事業 95,111千円)

<令和2年度計画>

- ・ 医療介護連携体制整備事業
- ・ 医療介護多職種連携体制整備事業
- ・ 地域医療構想調整会議活性化事業
- ・ 井笠地区医療機関と高度急性期病院との連携強化及び機能分化の支援事業 (4事業 31,724千円)

3

○区分1に関する事業

【区分1】病床機能分化・連携促進のための基盤整備事業

<実施主体> 県、医療機関

<実績額> 354,079千円

<事業概要>

一般病床から回復期病床等不足する病床への転換など地域医療構想の達成に向けた機能分化を円滑に進めるために、医療機関が行う施設整備に対する助成を行う。

また、必要に応じて地域医療構想の達成に向けた医療機関の事業縮小の際に要する費用に対しても補助を行う。

<実施内容>

H30年度に地域医療構想会議で承認を得た2医療機関（落合病院、倉敷シティ病院）について、病床削減および病床転換のため、建て替え工事を進めた。

※両医療機関とも令和3年度で工事完了予定。

4

○区分2に関する事業

<令和2年度計画>

- ・ 在宅歯科往診普及センターの運営に係る事業
- ・ 早期退院・地域定着のための連携強化事業
- ・ 小児等在宅医療連携拠点事業
- ・ 糖尿病等の生活習慣病に係る医療連携体制の推進に関する事業
- ・ 多剤・重複投与対策に向けた住民啓発事業

外12事業

(17事業 51,959千円)

5

○区分2に関する事業

【区分2】多剤・重複投与対策に向けた住民啓発事業

<実施主体> 県医師会（県委託事業）

<事業規模> 946千円

<事業概要>

高齢者に起こりやすい多剤併用や重複投与を是正するため、地域のかかりつけ医や薬剤師等により、住民を対象に正しい薬の服用方法や多剤・重複投与のリスク等に関する講座を開催する。

<アウトプット指標>

講座への参加人数：102名 ※目標：250名

<アウトカム指標>

- ・ 複数医療機関から同一成分の薬剤を投与された患者数の削減
- ・ 65歳以上で11種類以上の投薬を受ける患者数
→現時点でR2数値は未公表であるため観察できていない。

6

○区分4に関する事業

<令和2年度計画>

- ・ 医院継承バンク
- ・ 女性医師復職支援事業
- ・ 救急勤務医支援事業
- ・ 小児救急医療支援事業
- ・ 医療勤務環境改善支援センター事業
- ・ 新人看護職員研修事業
- ・ 看護師等研修責任者等研修事業

外22事業

(29事業 608,405千円)

<新型コロナの影響による未実施事業>

- ・ 災害時医療従事者養成確保事業
- ・ ALSO, BLSO開催を通じた医療人の確保

7

○区分4に関する事業

【区分4】救急勤務医支援事業

<実施主体> 二次救急医療機関 <実績額> 15,594千円

<事業概要>

休日・夜間の当直を行う勤務医に救急勤務医手当を支給する医療機関に対して、その手当の一部を助成することにより、救急勤務医の確保を図る。

<アウトプット達成状況>

救急勤務医手当を支給する医療機関数：27機関(R2) ※目標：26機関

<アウトカム達成状況>

救急勤務医一人あたりの時間外救急患者件数

→現時点でR2数値は未公表であるため観察できていない。

※目標525件/人(H27)→ 510件/人(R2)

8

＜その他＞ 資料4 関係の資料について

【資料5】

令和2年度実施事業に関する事後評価（案）